

1月10日：底値買いが入り上昇の見通し

最近の急落は投資家の底値買い意欲も呼び起こし、来週は反発も期待できると思われる。

金曜日はホーチミン取引所のVN指数は前日から0.87%上昇し、968.54ポイントで引けた。

先週ホーチミン市場の1日平均出来高は2億1,470万株で、1日平均の売買代金は4.1兆ドン（1億7,740万ドル）であった。

VN指数は上昇が3営業日、下落は2営業日で、前週末から0.35%上昇した。

「来週VN指数は抵抗線の970-972ポイントに向けて上昇が見込まれ、短期的なトレンドが確認できるだろう」とバオベト証券はレポートで述べている。

「この価格帯ではボラティリティの増加も予想される。市場は幅広いセクターが物色され、利食いが期待できるセクターにキャッシュが向かうだろう。」同レポートは述べている。

「上昇トレンド入りするには、970-972ポイントの抵抗線を抜ける必要があり、980-985ポイントを試す必要があるだろう」

ベトドラゴン証券（VDSC）は、投資家は最近の急落に見舞われた銘柄の物色を拡大すると見ている。

「底入れが進み上昇トレンドも形成されつつある。トレーダーは調整時には買いを検討している。」とVDSCは見ている。

銀行株の堅調な上昇から市場は徐々に強気になっている。底値形成のシグナルも見えており、調整時には買いを入れて株式の比率を増やすべきだろうと同社は述べた。

先週は、BID、CTGともに市場に好意的なインパクトを与えた。

食品・飲料セクターでは、先週はVNMが活況で市場の上昇を下支えした。その他にSAB、VHC、VCFも上昇した。

反対に VIN 関連はぱっとしなかった。VHM、VIC、VRE は大きく売られ、VHM は最も足を引っ張った。

にもかかわらず、流動性が増大したことで投資家は見通しを楽観的に見ている。

外国人投資家は1月にホーチミン市場で1兆ドンを買い越した。

バオベト証券によると、今週、株式の比率はポートフォリオの30-35%に保つべきとしている。969-972ポイントの抵抗線近辺では売りも検討すべきとのことである。

市場が970-972ポイントの抵抗線を突き抜ければ、調整時には株式の組み入れを引き上げることを検討すべきと同社は述べている。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。